

令和6年度学校評価 計画																																							
学校名		唐津市立加唐小中学校																																					
1 前年度 評価結果の概要		・児童数・職員数が減り、年度当初は学校全体の活気や行事の準備・運営など心配な部分もあったが、全職員が様々なアイディアを出し、一丸となって働いたことで「心の教育」「健康・体づくり」では、保護者・学校評議員から高い評価を得た。しかしながら、それぞれの授業時数や校務分掌等で各職員に大きな負担となった。来年度は中学校も復活することから、より一層働き方改革を促進し、創造的な教育活動ができるように努めていきたい。 ・全職員が複式での授業を経験し、校内研究でもより良い授業づくりについて議論を重ねたことで、授業内容が向上し、CRTテストや漢字検定などで学力の高まりを感じることができた。来年度は家庭学習の在り方について、学校全体で話し合っていく必要がある。																																					
2 学校教育目標		夢の実現に向かって たくましく挑戦する 児童生徒の育成 ー 郷土愛 自律 協働 ー																																					
3 本年度の重点目標		①地域とともにある学校づくり（体験活動を通して郷土の魅力を発見・発信する活動） ②離島へき地教育の推進（基礎学力の向上と実践的コミュニケーション能力の育成） ③特別支援教育（特別支援学級の組織体制の整備）																																					
4 重点取組内容・成果指標																																							
(1)共通評価項目																																							
<table><tr><th colspan="3">重点取組</th><th rowspan="2">具体的取組</th></tr><tr><th>評価項目</th><th>取組内容</th><th>成果指標 (数値目標)</th></tr><tr><td rowspan="2">●学力の向上</td><td>○基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成</td><td>○12月実施の県学習状況調査、1月実施のCRT標準学力検査において、全ての学年・教科で県平均を上回るようにする。</td><td>・学力向上対策評価シートの重点取組と成果指標を全職員と共有し、実践する。 ・校内研において、児童生徒の実態を把握する時間を設け、授業づくりに生かす。</td></tr><tr><td rowspan="4">●心の教育</td><td>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</td><td>○「周囲に対して思いやりをもって接することができる」と回答する児童生徒を80%以上にする。</td><td>・思いやりや感謝の気持ちを育むために、児童生徒同士で感謝の言葉を送りあうなどの取り組みを行う。 ・道徳教育に関する掲示物を充実させ環境整備を行う。</td></tr><tr><td>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</td><td>○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事実対処等)について組織的に対応できていると回答した教員を80%以上とする</td><td>・生活アンケートや児童への個別面談を実施し、いじめ等の早期発見、早期対応を行う。 ・人権・同和教育に関する職員研修会を年2回実施し教職員の知識理解を高める。</td></tr><tr><td>●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。</td><td>●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒を100%にする。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒を100%にする。</td><td>・各行事で、児童が役割を担い、自主的に計画、実行し達成感を味わうことができるよう、教師がサポートし、また、その都度児童の成長を賞賛する。 ・スポーツ観戦や高校訪問、体験活動等の校外学習を通して、「夢」や「目標」、「仕事」について考える場を設定する。 ・キャリアパスポートの見直しを行う。</td></tr><tr><td>◎自らの夢や希望の実現に向けて挑戦する気持ちを高める教育活動の推進。</td><td>○「将来の夢や目標を持ち、具体的な努力をしている」について肯定的な回答をした児童生徒を100%にする。</td><td>・授業や各行事で、児童生徒に役割を担わせ、自己肯定感を味わわせる。 ・「島の魅力や良さ」に気付かせる取組により、先人たちの努力や功績を自身の進路実現に生かす機会を作る。</td></tr><tr><td>●健康・体づくり</td><td>●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成</td><td>●「健康に良い食事をしている」と回答する児童生徒を100%にする。</td><td>・毎日朝食を食べているかのチェックを行うとともに、授業や集会等での取組により、朝食を食べることやバランスよく食べることの大切さを理解し、意識して食べる態度を育てる。</td></tr><tr><td>●業務改善・教職員の働き方改革の推進</td><td>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</td><td>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</td><td>・定時退勤日の徹底 ・長期休業中の年休取得の推進 ・学校閉庁日の設定</td></tr><tr><td>●特別支援教育の充実</td><td>○特別支援教育の視点を取り入れた教育実践</td><td>○特別支援教育の視点を取り入れた実践を行うことができた教員を100%にする。</td><td>・個に応じた学習指導の方法を工夫、改善する。 ・各関係機関との情報共有、連携を密に取る。</td></tr></table>				重点取組			具体的取組	評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	●学力の向上	○基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成	○12月実施の県学習状況調査、1月実施のCRT標準学力検査において、全ての学年・教科で県平均を上回るようにする。	・学力向上対策評価シートの重点取組と成果指標を全職員と共有し、実践する。 ・校内研において、児童生徒の実態を把握する時間を設け、授業づくりに生かす。	●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「周囲に対して思いやりをもって接することができる」と回答する児童生徒を80%以上にする。	・思いやりや感謝の気持ちを育むために、児童生徒同士で感謝の言葉を送りあうなどの取り組みを行う。 ・道徳教育に関する掲示物を充実させ環境整備を行う。	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事実対処等)について組織的に対応できていると回答した教員を80%以上とする	・生活アンケートや児童への個別面談を実施し、いじめ等の早期発見、早期対応を行う。 ・人権・同和教育に関する職員研修会を年2回実施し教職員の知識理解を高める。	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒を100%にする。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒を100%にする。	・各行事で、児童が役割を担い、自主的に計画、実行し達成感を味わうことができるよう、教師がサポートし、また、その都度児童の成長を賞賛する。 ・スポーツ観戦や高校訪問、体験活動等の校外学習を通して、「夢」や「目標」、「仕事」について考える場を設定する。 ・キャリアパスポートの見直しを行う。	◎自らの夢や希望の実現に向けて挑戦する気持ちを高める教育活動の推進。	○「将来の夢や目標を持ち、具体的な努力をしている」について肯定的な回答をした児童生徒を100%にする。	・授業や各行事で、児童生徒に役割を担わせ、自己肯定感を味わわせる。 ・「島の魅力や良さ」に気付かせる取組により、先人たちの努力や功績を自身の進路実現に生かす機会を作る。	●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」と回答する児童生徒を100%にする。	・毎日朝食を食べているかのチェックを行うとともに、授業や集会等での取組により、朝食を食べることやバランスよく食べることの大切さを理解し、意識して食べる態度を育てる。	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の徹底 ・長期休業中の年休取得の推進 ・学校閉庁日の設定	●特別支援教育の充実	○特別支援教育の視点を取り入れた教育実践	○特別支援教育の視点を取り入れた実践を行うことができた教員を100%にする。	・個に応じた学習指導の方法を工夫、改善する。 ・各関係機関との情報共有、連携を密に取る。
重点取組			具体的取組																																				
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)																																					
●学力の向上	○基礎的・基本的な学習内容の確実な習得と思考力・判断力・表現力の育成	○12月実施の県学習状況調査、1月実施のCRT標準学力検査において、全ての学年・教科で県平均を上回るようにする。	・学力向上対策評価シートの重点取組と成果指標を全職員と共有し、実践する。 ・校内研において、児童生徒の実態を把握する時間を設け、授業づくりに生かす。																																				
	●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「周囲に対して思いやりをもって接することができる」と回答する児童生徒を80%以上にする。	・思いやりや感謝の気持ちを育むために、児童生徒同士で感謝の言葉を送りあうなどの取り組みを行う。 ・道徳教育に関する掲示物を充実させ環境整備を行う。																																			
●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実		○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事実対処等)について組織的に対応できていると回答した教員を80%以上とする	・生活アンケートや児童への個別面談を実施し、いじめ等の早期発見、早期対応を行う。 ・人権・同和教育に関する職員研修会を年2回実施し教職員の知識理解を高める。																																				
●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。		●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒を100%にする。 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒を100%にする。	・各行事で、児童が役割を担い、自主的に計画、実行し達成感を味わうことができるよう、教師がサポートし、また、その都度児童の成長を賞賛する。 ・スポーツ観戦や高校訪問、体験活動等の校外学習を通して、「夢」や「目標」、「仕事」について考える場を設定する。 ・キャリアパスポートの見直しを行う。																																				
◎自らの夢や希望の実現に向けて挑戦する気持ちを高める教育活動の推進。		○「将来の夢や目標を持ち、具体的な努力をしている」について肯定的な回答をした児童生徒を100%にする。	・授業や各行事で、児童生徒に役割を担わせ、自己肯定感を味わわせる。 ・「島の魅力や良さ」に気付かせる取組により、先人たちの努力や功績を自身の進路実現に生かす機会を作る。																																				
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」と回答する児童生徒を100%にする。	・毎日朝食を食べているかのチェックを行うとともに、授業や集会等での取組により、朝食を食べることやバランスよく食べることの大切さを理解し、意識して食べる態度を育てる。																																				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の徹底 ・長期休業中の年休取得の推進 ・学校閉庁日の設定																																				
●特別支援教育の充実	○特別支援教育の視点を取り入れた教育実践	○特別支援教育の視点を取り入れた実践を行うことができた教員を100%にする。	・個に応じた学習指導の方法を工夫、改善する。 ・各関係機関との情報共有、連携を密に取る。																																				
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目																																							
<table><tr><th colspan="3">重点取組</th><th rowspan="2">具体的取組</th></tr><tr><th>評価項目</th><th>重点取組内容</th><th>成果指標 (数値目標)</th></tr><tr><td>○児童生徒のコミュニケーション能力の向上</td><td>○実践的コミュニケーション能力の育成</td><td>○児童生徒のコミュニケーション能力の向上について、肯定的な回答をした保護者、教員を80%以上とする。</td><td>・校内研修において、教職員間での授業報告・改善。 ・ICTの利点を生かした授業改善(即時フィードバック、共有、リモート会議)</td></tr></table>				重点取組			具体的取組	評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	○児童生徒のコミュニケーション能力の向上	○実践的コミュニケーション能力の育成	○児童生徒のコミュニケーション能力の向上について、肯定的な回答をした保護者、教員を80%以上とする。	・校内研修において、教職員間での授業報告・改善。 ・ICTの利点を生かした授業改善(即時フィードバック、共有、リモート会議)																									
重点取組			具体的取組																																				
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)																																					
○児童生徒のコミュニケーション能力の向上	○実践的コミュニケーション能力の育成	○児童生徒のコミュニケーション能力の向上について、肯定的な回答をした保護者、教員を80%以上とする。	・校内研修において、教職員間での授業報告・改善。 ・ICTの利点を生かした授業改善(即時フィードバック、共有、リモート会議)																																				